

図書館forum

2020年3月

No.17

図書館への期待	上田 孝典	2
令和を生きる学生の皆さんへ	伊藤 勇・岩野 正之	3
図書館の学生スタッフ紹介		4
学生スタッフから新入生に読んでほしい本		5
電子ブックを使ってみよう!		7
ようこそ、本の世界へ(3)		
文庫本を読もう	膽吹 寛	9
福井大学附属図書館所蔵「小島家文書」を読む(7)		
いのちを尊ぶ人びとー貞享5(1688)年と元禄2(1689)年、生類憐み令請書雛形からー	長谷川 裕子	11
図書館のICT環境		13
W.E.グリフィス顕彰小論文コンクール/ 日本医学図書館協会奨励賞受賞		14
イベント日記		15
2019年度教員著作寄贈図書		19

医学図書館 @u_fukui_medlib

本日『杏』をいただきました。『杏林愛に芳しき』
医学部理念に謳われています



体験コーナーを設置し、便利さを実感。「自宅
で動画を見ながら勉強できました！」との声も。



快晴の空の下、国家試験に出発！



図書館入口の掲示板をプチリニューアル。
少しは明るくなったでしょうか？いいね！？



患者さんが描かれた一枚の絵をご存知ですか？
図書館の階段踊り場に飾られています。



総合図書館 @LA_Fukui_Univ_L

今年度のしおりができました



今年もイイ感じに盛れました！(´▽`)bグッ！
季節感を味わいたい方はどうぞ図書館までお
越しくださいませ☆..



「さけ」登場。使った後は、綺麗に畳んで
てくださいね



図書館前のかりんの木に今年も実がなりました。
カウンターにおいたところ、香りが漂い
ました(´▽`)bワッ！



伝えたいことは動かしていくスタイル♪



W.E.グリフィス

図書館への期待

学長 上田 孝典

福井大学図書館について何か一文と依頼を頂くなら、私の場合まず頭に浮かぶのは、医学図書館に私が学部長の時完成した「情報工房グループラボ」である。

医学部の場合、国試に向けたグループ学習が長期に及ぶが、下宿をラウンドするのもにも限りがあり、しっかり対話(騒音)しながら、夜遅くまで学習出来るラーニング・コモンズ、アクティブ・ラーニング・スペース的な空間をなんとか確保したいと思っていたが、英語の自習スペースも語学センターの充実と共に必要となり、医学図書館の敷地に抱き合わせで作る事を、当時の福田学長より承認頂いた。医学図書館長の老木教授を長とした委員会で審議され、命名も頂いた。

完成後の利用も好調で学内外で評価されているようで、夜間、車で通りがかり、いくつもの明かりを見ると、頑張ってくれているなど嬉しくもなる。実はこの成功には、図書館の協力が得られたのが大きいのである。その管理を教務が所掌することも考えられたが、動線も長くなり、学生外の利用もあって苦戦していたと思う。

またこの工房では諸情報の取得も可能であり、情報リテラシーの管理、教育は今まさに大学図書館との関わりが焦点になっている所であり、一歩先んじていた気がする。

さて本学では、この度大学の新理念を決定した。それは、「格致によりて 人と社会の未来を拓く」である。聞き慣れない「格致」を取り上げたのは、本語は、本学が所蔵する松平春嶽公の揮毫による用語で、「物事の道理や本質を深く追求し、理解して、知識や学問を深め得ること」を意味する。総合図書館の奥深く？に保存されているが、新理念の記者会見で初めて披露された。総合図書館の入口には、その精巧なレプリカが掲示されている。

以上の2つから思うに、やはり Society 5.0といわれる社会で未来の情報工房をもうけるべく大学が進化してゆくためには図書館機能が必要であろう。一方、春嶽公の額を保管するのは、大学では倉庫の中ではなく、図書館の貴重書室でありたい。両立のためには、伝統を重んじつつも、要事にはスピード感を持って進化して行く図書館であって欲しいと思う。



令和を生きる学生の皆さんへ

読書を通して 大きな問いに向き合おう

総合図書館長 伊藤 勇



「我々はどこから来たのか、我々は何者なのか、我々はどこへ行くのか」——ポール・ゴーガン晩年の傑作(写真)のタイトルですが、これら3つの問いは、あらゆる思想、宗教、芸術、学問の根底にある問いでもあるでしょう。

私が専門とする社会学では、これらの問いは、「我々が暮らすこの社会はどのように発生・展開してきたのか、この社会で我々はどのような社会的生を営んでいるのか、そしてこの社会はどこに向かうのか」という形をとります。これらの問いに社会学は、編み出した独特の理論や方法を用いて特定の問題や現象を調査研究し、その知見に即して答えようとしてきました。マックス・ウェーバーやエミール・デュルケムといった社会学の巨人から現代日本の代表的社会学者まで、様々な探究が敢行され種々の興味深い回答が提出されています。その主要なものは総合図書館の書棚や教員推薦図書コーナーで見つけることができます。

社会学に限らず、どの分野にも巨人や傑人は存在し、かれらの仕事・著作を通して私たちは、ゴーガンの発した根源的な問い掛けにいざなわれることでしょう。学生時代には、専門科目の勉強だけでなく、是非こういう大きな問題にも向き合ってほしいものです。

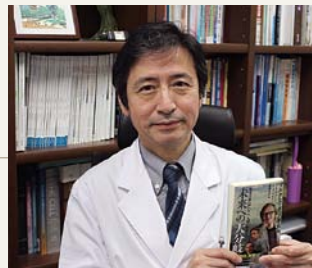


出典：現代世界美術全集7 ゴーガン(愛蔵普及版) 集英社出版、1971

「未来への大分岐」

集英社新書
マルクス・ガブリエルほか著
集英社、2019

医学図書館長 岩野 正之



令和を生きる学生の皆さん、明るい未来を想像できますか？現代社会は、地球温暖化、債務超過、ポピュリズムの台頭、貧富格差の拡大、シンギュラリティーの到来、など出口の見えない問題で溢れかえっています。このような大問題の解決策を個人レベルで考えても無意味と、考えること自体を放棄していませんか？それはまさに、「人類は、胸元に拳銃を突き付けられているような状態だ。撃たないでくれと叫び、最悪の事態を避けるために行動する選択肢もある。それなのに、どうぞ撃ってください」という本書の一節の状態です。本書では、マルクス・ガブリエル、マイケル・ハート、ポール・メイソン、という当代随一の知の巨人たちが、斎藤浩平との対談を通して、諸問題に対する処方箋を、哲学的、政治学的、経済学的に、模索していきます。少し難解ではありますが、ディストピアが現実となることがないように、知的トレーニングを実践しましょう。

図書館の 学生スタッフ紹介

LA (ラーニング・アドバイザー) / 総合図書館

LAは、週に2~3回、総合図書館で活動する大学院生スタッフです。数学・物理など授業で出た課題について一緒に解法を考えたり、大学生活で生じた疑問や悩みなどの相談にのっています。LAによって得意とする科目も違いますが、まずは相談してみてください。毎年度、5月末に活動開始します。LAの活動時間と合わない場合は、HPから予約することもできますので、積極的にご活用ください。

LA その他の活動：2019年度は、通常の相談以外に、パスファインダー(調べ案内)の作成、企画展示「SDG'sを考えよう」、ビブリアバトルなど、学生の皆さんにより図書館を活用してもらえるよう様々な活動を行いました。LAに相談だけでなく、こんな活動やってみてほしい!方もどうぞおいでください。



オレンジ色のピブスを着ているのがLAです。お気軽にお声かけください。

図書館アルバイト / 総合図書館

平日の17時~閉館時と土日祝日の開館時間に、カウンター業務を始めとした図書館業務を担ってくださっている大学院生スタッフです。図書館資料の返本、書架の整理、新聞の整理や紐かけ、図書の装備など、地道な作業を黙々とこなし、カウンターでは利用者の対応もしています。夜間の利用者と昼間の職員との架け橋にもなってくれる縁の下の力持ち的存在です。毎年、3月に入れ替わります。本好きなスタッフも多いので、お気軽にお声がけください。



図書委員 / 医学図書館

医学部学生の中から、毎年学年ごとに選出され、学生と図書館間の連絡や展示・イベントの協力をしています。図書館の運営に参加できる学生図書委員。あなたの参加をお待ちしています。

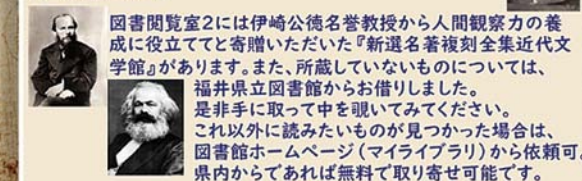


学生図書委員によるテーマ展示③

『入試で散々覚えたけど見たことない本』

みなさん、大学に入るまでコツコツ型の方も徹夜型の方も散々覚えた歴史的名著。どのくらい実際に目を通してありますか？今回、そんな疑問をもった図書委員からの提案で本を集めました。

図書閲覧室2には伊崎徳名誉教授から人間観察力の養成に役立ててと寄贈いただいた『新選名著複刻全集近代文学館』があります。また、所蔵していないものについては、福井県立図書館からお借りしました。是非手に取って中を覗いてみてください。これ以外に読みたいものが見つかった場合は、図書館ホームページ(マイライブラリ)から依頼可。県内からであれば無料で取り寄せ可能です。





祝入学

学生スタッフから 新入生に読んでほしい本 を紹介してもらいました



考現学入門 (ちくま文庫)

今和次郎 筑摩書房, 1987

建築を学び始める1年生にぜひ読んでほしい、戦前における「まち」や「暮らし」を記録した本です。建築のイメージとは少し違う本ですが、観察することは建築をやる上でとても大切で、その捉え方を身に付けることのできる本だと思います。

建築関係の図書をお探しの際は力になれたらと思います。

工学・修士1年 生越 季理 (図書館アルバイト)



まんがでわかる 理科系の作文技術

木下是雄 原作・久間月慧太郎 作画 中央公論新社, 2018

レポートを書くときに意識すべきことを教えてくれるのがこの本です。

1981年に刊行された「理科系の作文技術」という本をまんが化・再構成したもので、レポートの書き方のエッセンスが詰まっているのでぜひ読んでみてください。

利用しやすい図書館の維持に貢献したいと業務に取り組んでいます。お困りの際はお気軽に声をおかけください。

工学部4年 岡田 裕樹 (図書館アルバイト)



深夜特急

沢木耕太郎 新潮社, 1986

デリーからロンドンまで乗合いバスの旅を描いた紀行文。後先顧みず興味のまま時間をたっぷり使う、思いっきり無駄な時間を使うことの喜びが伝わってくる1冊です。これを読むと世界を旅したくなってきます。長期休みを使って旅行に行くことのできる大学生にぜひおすすめです。

4年生の時から図書委員をしています。世界を見てみたいと思っています。

医学部6年 清水 貴大 (学生図書委員)



舟を編む

三浦しをん 光文社, 2011

新生活がスタートし、新しいことを始める人も多いのではないのでしょうか。この本は、辞書作りという仕事に情熱を持って挑む物語。

あなたも、自分が夢中になれることに情熱を持って取り組んでみては。やり遂げた先にはきっと何かが残っているはず。

図書館をふとした瞬間に訪れたくなる場所に。あなたが今出逢いたい作品を探お手伝いをしたいです。

工学部4年 森吉 夏鈴 (図書館アルバイト)



実践 研究計画作成法

—情報収集からプレゼンテーションまで—

日本学生支援機構 凡人社, 2019

この本は情報収集からプレゼンテーションまで詳しく分かりやすくかかれています。

少し外国の留学生向けですが、日本の学生にも役に立つと思います。

卒論や自分の大学で学びたい研究したいことがもっと具体的にまとめることが出来ると思います。

台湾出身です。留学や国際交流に興味のある方に少しでもお話をアドバイスできたらと頑張っています。

教育・修士1年 張 詩好 (ラーニング・アドバイザー)



遺伝子 親密なる人類史 上・下

シッタールタ・ムカジー 早川書房, 2018

遺伝子というものに対して多くの人が、いろいろな疑問を抱いて様々なことを発見してきました。単なる知識でなく、そこに至るまでの歴史を知れば生物がもっと楽しくなるかも。「遺伝子の伝記」ぜひ読んでみてください。

長期の休みには、解剖学2の研究室でバイトをしています。テストがないときは、ノンフィクションを中心に読書しようとしています。

医学部3年 内田 待望 (学生図書委員)



スバラシク実力がつくと評判の 線形代数キャンパス・ゼミ

馬場敬之 マセマ出版社, 2018

行列計算やベクトル空間という概念などを新しく学習する人向けの参考書になります。数学の専門書は、初めてその分野を学習する人にとっては難しいことが多いですが、この参考書はかなりわかりやすく解説しており、入門書としてオススメです。

1年次、この参考書を読んでから講義に臨むと、先生が掴みやすかったです。

研究では主に物理、数学を扱っています。数理解関係のごとで力になればと思っています。

工学・修士1年 田中 溪太 (ラーニング・アドバイザー)



Newton 別冊ムック くすりの科学知識 増補第2版 薬のしくみと、奥深き創業の世界

ニュートンプレス, 2019

痛み止めや花粉症薬、抗生物質などの効能や効く理由について、わかりやすく説明されています。福井大学の先生推薦図書の一つであり、イラストに惹かれて読んでみました。図の中の説明文を読むだけでも勉強になりました。

皆さんが安心して勉強できる空間を維持していきたいです。何かあればお声がけください。

工学・博士2年 清水 洸佑 (ラーニング・アドバイザー、図書館アルバイト)



むらさきのスカートの女

今村夏子 朝日新聞出版, 2019

近所に住む「むらさきのスカートの女」と仲良くなりたいたい主人公が、自分と同じ職場で働くよう誘導し執拗に追いかけてく話です。ストーリーのようで不気味に感じるかもしれませんが、誰かに憧れを抱いてその人に近付きたいという主人公の気持ちに共感できる人も多いのではと思います、この本を選びました。難しい表現もなく読みやすいのでおすすめです。

二年生の実習中です。毎日大変ですが授業では学べないことをたくさん経験できます。皆さんも頑張ってください。

医学部2年 学生図書委員



アンチ整理術

森 博嗣 日本実業出版社, 2019

大学生になって、ひとり暮らしを初めて経験する人も多いのではないのでしょうか。私もその一人でした。

ひとり暮らしの学生につきものなものに、部屋の掃除があります。めんどうですよ。

この本は、「整理」について独特な視点で著者の経験を基につづられているので面白いです。タイトルの通り、この本を読んでも部屋は綺麗になりません。でも、「整理」とは何かを考えられる一冊です。

図書館は、学生にとって心地よい場所であると思います。本を読むだけでなく、様々なことに図書館をご利用下さい。

工学部4年 中村 冬輝 (図書館アルバイト)



一日一生

酒井雄哉 朝日新書, 朝日新聞出版, 2008

慌ただしい新生活が始まりますが、おおいに楽しんで下さい！そして学生生活や勉強に疲れたなと感じたら、是非この本を眺めてみて下さい。天台宗大阿闍梨の筆者の優しい語り口から、自分の立ち位置を見つめなおすきっかけを得られるかもしれません。「息を吸って、吐く。呼吸の大切さ。」「人は自然の中で生き、生かされている。」気になる言葉を是非見つけてみて下さい。

カラー図解 人体の正常構造と機能

日本医事新報社, 2017

1年生のカリキュラムの大きな山場は人体解剖学だと思います。指定のテキストやアトラスで勉強を進めていながら、理解を補うために私はこの本を参考にしていました。より模式的な図を取り入れていたり、筋肉の起始・停止をまとめてくっていたり、神経や血管の走行を簡潔な言葉で説明してくれたり。

実習の予習復習や試験対策にも重宝すると思います。

2年生は、基礎医学の科目を学び、充実した学生生活を過ごしています。

図書館に来て、先輩達の勉強している姿を覗いてみてください！

医学部2年 宇貞 歩 (学生図書委員)



電子ブック を使ってみよう!

デジタルコンテンツを使うと
重い本を持ち歩かなくてE、
貸出時間を気にしなくてE、
返却期限を気にしなくてE、
学外からでも使えて便利だ YO!



福井大学附属図書館
ホームページからアクセス
<https://www.flib.u-fukui.ac.jp/>

OverDrive 電子図書館システム

洋書を中心とした電子ブックで、大学発行の統一認証 ID
でアクセスします。コミック (英語版) もあります。
一挙両得! 楽しみながら Let's study English!!

使い方

① OverDrive 電子図書館システム
をえらんで、「サインイン」を
クリック



② 「University of Fukui ユーザーの方は、このシステムへサインインするにはここを
クリックしてください。」をクリック

IdP Select Page

「OverDrive Japan Digital Library Service」を利用するため、所属機関
で認証する必要があります。所属機関を選択してください。
※このページを表示して時間が経過している場合は、再読み込みしてから
所属機関を選択してください。正しいページに戻れない場合があります。



③ 「福井大学」をえらんで「選択」



④ あなたの
福井大学統一認証 ID、
パスワードを入力

Maruzen eBook Library

丸善が提供する学術・研究機関のための電子ブックです。
学術情報のほか、大学生活に役立つ資料が充実しています。動画が見られる資料もあります。

使い方 Maruzen eBook Library をえらんで、キーワード検索をするだけ!



化学実験の授業には
→「化学実験」
多読するなら
→「Macmillan Readers」
旅に出るなら
→「地球の歩き方」
就活するなら
→「マイナビ」

Visible Body on Ovid

ヒト全身の解剖学と生理学を網羅した 3D
学習ツールです。

使い方

モバイル機器でご利用の場合は、
下記 URL からアプリをダウンロード
[http://ovid.visiblebody.com/
mobile/](http://ovid.visiblebody.com/mobile/)

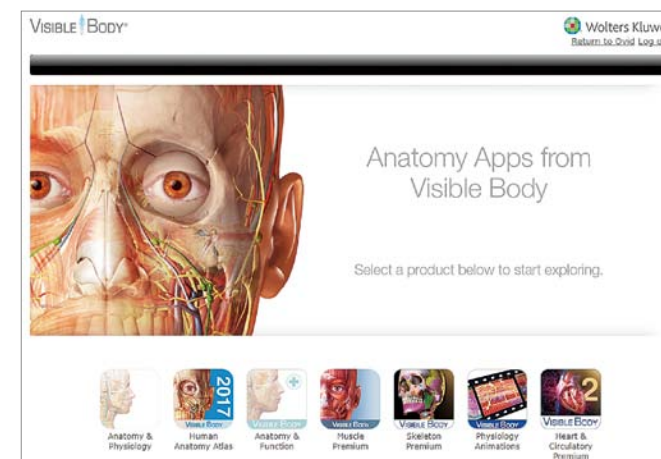
次に学内 wifi の環境下にてアプリ
を起動してください。

Username, Password には

何も入力せずに、「I don't have a user name and
password」をタップしてください。

次に画面の「Try Again」をタップしてください。

認証確認後 150 日間はオフライン (自宅など学外) で
も利用可能です。



利用者 からの声

- ・解剖学の勉強にめっちゃ使ってますよ!
- ・3D画面を自由に回転させることができ、クリックするだけで名前がわかる。
- ・筋肉のつき方が立体的に分かるのが何より便利。
- ・実習の前にこのアプリが使えていたら...

人体解剖学の授業でも推薦されています。新入生の皆さん Let's Try it!

文庫本を読もう

語学センター 准教授 いぶき さとる
膽吹 覚

大学生になると専門書を読む機会が増える。しかし、専門書は高価で重厚な上装本であり、その多くが電子化されておらず、携帯には不便である。そこで人文科学系であれば、専門書と併せて文庫本を読むことを勧めたい。ただし、角川スニーカー文庫や電撃文庫でライトノベルばかりを読むのではなく、そこはやはりもう少し大人になって、文庫本を通して〈教養と学術〉に触れてもらいたい。もちろん、それは紙の本である必要はない。電子書籍で「文庫本」を読んでもいい。そもそも文庫本は携帯に便利であることと廉価であることを考慮して作られた判型であるから、電子書籍とは相性がいいのである。



(左が袖珍名著文庫、右が立川文庫。筆者架蔵本)

日本の文庫本の歴史は、明治36年(1903)に創刊された富山房の袖珍名著文庫に始まると言われている。「袖珍」とは袖に入れて持ち運びが可能な小型本という意味である。袖珍名著文庫からは上田秋成『雨月物語』や『今昔物語集』といった日本古典文学が発行された。同44年(1911)、立川文庫が創刊され、『猿飛佐助』『霧隠才蔵』などの忍術

物の講談筆記本が相次いで出版された。大正3年(1914)には新潮文庫が創刊され、『アナトール情話集』やヘッベル『ユウデイト』といった外国文学の翻訳が多く刊行された。



(左が岩波文庫、右がレクラム文庫。筆者架蔵本)

こうした流れを受けて、昭和2年(1927)に岩波書店から岩波文庫が創刊された。その記念すべき第1号は佐佐木信綱『新訓万葉集』であった。その巻末に附録された「読書子に寄す」には、岩波文庫がドイツの「レクラム文庫を範とし」、その判型や装丁のみならず、叢書として発行すべき書籍の選定も「古今東西に亘って文芸・哲学・社会科学・自然科学等種類の如何を問わず、苟も万人必読すべき真に古典的価値のある書」に限り、「携帯に便にして価格の低きを最主と」することが宣言されている。今日、一般的に「文庫」と言った場合、「普及を目的とし、小型(A6判)で携帯して読むのに便利な廉価本の叢書」(『広辞苑』第6版)を意味するが、それは岩波文庫に始まったとあってよい。今日、文庫と称する角川文庫、新潮文庫、ちくま文庫、講談社文庫、集英社文庫、みな然りである。

その中に在って岩波文庫は「古今東西に亘って文芸・哲学・社会科学・自然科学等種類の如何を問わず、苟も万人必読すべき真に古典的価値のある書」に限ったことから、創刊当初から今日までいわゆる〈教養〉の代名詞でもある。

大学生の中には「そもそも読みたい本がない。本を読み、本を読みと親や教師は言うが、何を読めば良いかわからない」と言う人がいる。もしあなたがそうであるならば、岩波文庫から1冊を選ぶことを薦めたい。なぜならその1冊は「万人必読すべき真に古典的価値のある書」であるからである。岩波文庫はその帯の色によって、黄色(日本古典文学)、緑色(日本近現代文学)、赤色(外国文学)、青色(自然科学・人文科学)、白色(社会科学)に分類されている。この帯色による分類をたよりにあなたの1冊を探してもよい。

岩波書店とは違う意味で教養の香りがする出版社に筑摩書房がある。小説家や評論家の全集の刊行で知られる出版社である。その文庫はひらがなで、ちくま文庫という。創刊は昭和60年(1985)で、文庫としては後発に属する。ちくま文庫はその特徴を活かして『夏目漱石全集』全10冊、『芥川龍之介全集』全8冊、『太宰治全集』全10冊などの文学全集を文庫本で刊行している。今日、日本近現代の著名な作家の全集なら電子書籍でかなり格安で購入できるが、紙の本で廉価で揃えるならちくま文庫がよい。

教養系の最後に新潮社の新潮文庫を取り上げておこう。新潮文庫は岩波文庫と並ぶ文庫界の老舗である。外国文学の翻訳で定評のある文庫だが、大学生諸君には「新潮文庫の100冊」という宣伝文句の方が、馴染みがあるかもしれない。この宣伝は今では夏の季語といってもよいほど定着している。市民プールの帰り道、涼を求めて立ち寄った商店街の本屋。そのレジの前の平台に山のように並べられていた新潮文庫。「新潮文庫の100冊」は夏、そして君たちのような若者が似合う。是非この100冊から1冊を手にとってもらいたい。

学術系の文庫は講談社学術文庫や角川ソフィア文庫、ちくま学芸文庫、岩波現代文庫などがある。本来、学術書はA5判の上装本として出版されることが多いが、刊行後にその評価が定まり、文庫本として普及することがある。言い換えれば、文庫本化された学術書は大学生が読むに値する古典的名著と判断してよいだろう。

野間省一は講談社学術文庫の刊行に当って、「これは、学術をポケットに入れることをモットーとして生まれた文庫である。(中略)その学術がポケットにはいる形で、万人のものになることは、生涯教育をうたう現代思想の理想である」と述べている。講談社学術文庫は〈学術〉とはいえ、文庫本であるから廉価である。つまり、上装本の専門書として出版された当時の価格の10分の1から5分の1の価格で購入できるのである。これを大学生が買わ(読ま)ないという選択肢はないだろう。

私の専門は日本書誌学(日本書籍文化史)であるが、学生の頃から宗教学や文化人類学に興味があり、今でもそうした学問については専門書と併せて講談社学術文庫、角川ソフィア文庫、ちくま学芸文庫などから多くの学恩を蒙っている。大学生諸君も大学で学ぶ専門科目以外に興味を抱いた分野があれば、文庫本を通してその分野の学術的な知識を得てもらいたい。

最後に、角川ソフィア文庫には「ビギナーズ・クラシックス」シリーズがあり、『源氏物語』や『奥の細道』といった日本の古典文学をはじめ、『論語』や李白の詩といった中国の古典文学が収録(抄録)されており、中学生や高校生が古文・漢文に親しむには良好の入門書である。また講談社学術文庫や角川ソフィア文庫には、古典文学の現代語訳シリーズもある。こうした現代語訳本は教員になった時に手もとにあれば重宝するであろう。いずれも文庫本であるから廉価で携帯に便利であり、教育学部の学生にはお勧めの文庫本である。

いのちを尊ぶ人びと—貞享5(1688)年と元禄2(1689)年、生類憐み令請書雛形から—

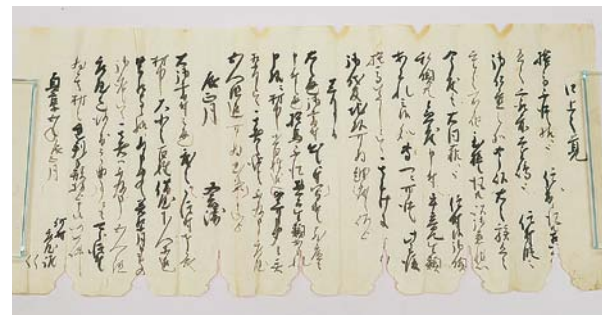
は せ が わ や す こ
教育学部 准教授 長谷川 裕子

現代を生きる我々は、地球上のあらゆる生物の「いのち」が、他の何にも代えがたく大事なものであることを至極当然のこととして承知している。たとえ、その「いのち」が簡単に奪われてしまう恐怖から、現在の我々がまったく脱することができないでいるとしても、「いのち」は不断の努力によって「守らなければならないもの」であることは知っている。しかし、慢性的な飢饉と、頻発する戦争の時代のなかで、「死」があまりにも身近で、当たり前のものであった江戸時代半ば以前の社会においては、「いのち」が失われることは「仕方のないこと」と捉えられていた。したがって、失われていく「いのち」に対する手当もほとんど講じられず、放置されていたのである。では、「いのち」を愛おしむ気持ち、すなわち「いのち」に対する見方が変化したのは、一体いつからなのだろうか。それは、村人同士が殺し合わないような仕組みを造り出した戦国時代以降、豊臣秀吉の全国統一にもなって進められてきた暴力発動の凍結（「惣無事令」）、さらには幕府や諸藩の飢饉への対応や、民政を中心とした幕藩政改革を通じて、徐々に人びとに浸透してきたと考えられている。そして、「いのち」をめぐる政策の集大成として発令された「生類憐み令」こそが、「いのち」を尊ぶ考えを根付かせた一つの画期となったのではないかと捉えられているのである。福井大学附属図書館に所蔵されている「小島家文書」には、「生類憐み令」に関する文書が、数点ではあるが残されている。今回は、これらの文書から、江戸時代の人びとの「いのち」に対するまなざしを追ってみたい。

「生類憐み令」は、江戸幕府5代将軍徳川綱吉が発令したもので、小学校の教科書にも記載されているほどに有名な法令である。従来は「犬愛護令」としての側面が強調されたために、発令した綱吉が「犬將軍」と称されるなど、あまりよい政策とは捉えられてこなかった。しかし近年では、綱吉期の政治が再評価され、特に「生類憐み令」に対する評価も劇的に変化してきている（塚本

学『生類をめぐる政治—元禄のフォークロア』講談社学術文庫、2013年）。具体的には後の文中で触れるが、「生類憐み令」とは、ただ一回発令された単発の法ではなく、実は20年あまりにかけて度々発令された一連の「生類憐み政策」であったこと、そして犬のみならず、生類全般に対する愛護を求めた法令であったことをまずは確認しておきたい。

さて、「小島家文書」を伝えた小島氏は、いわゆる大庄屋として居住する野中村（現坂井市三国町野中）周辺地域を「野中組」として管轄していたが、その小島家には、幕府からの命令を村々に伝え、それを承諾した旨を伝えた文書の控え等が伝来している。そのなかの一つに、貞享5(1688)年「生類憐み令請書雛形」がある(4720号文書。以下、「貞享請書」と略す。なお、「小島家文書」については目録番号のみを示す)。



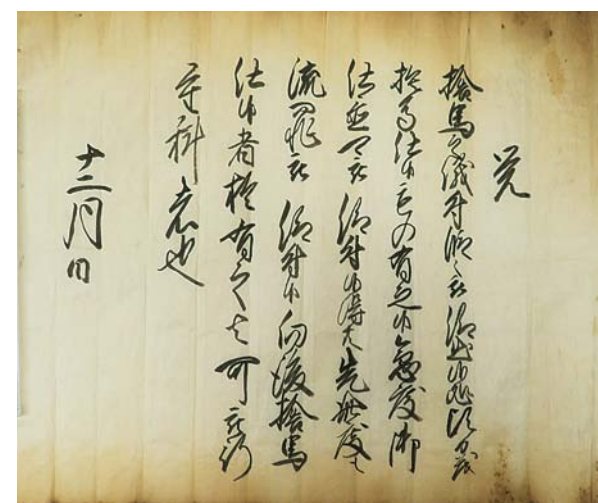
貞享5(1688)年5月 生類憐み令請書雛形 (No.4720)

この「貞享請書」の内容は、「捨馬」についてである。前半部分には、貞享4(1687)年12月、捨馬をした者を「遠嶋」(流罪)に処すとし、その理由によっては幕領代官や藩領給主等も処罰することが明記されている。この幕府からの命令を受けて、現在は「惣じて生類あわれみ申す様に」命じているので、村人はこれを堅く守る様に、とのお達しが翌年1月に各村に届けられた。「小島家文書」には、幕府からの「書付」(命令)と、それを伝えた代官のお達しとともに、それを受け取った村が、法令を承った旨を村

の役人の署判とともに申告した文書がセットになって写されている。この文書が「小島家文書」のなかに伝えられていることから、「生類憐み政策」のうち「捨馬」禁止については、広く全国に発令された法令であったことがうかがえるとともに、幕府の命令を村が承ったことを申告する仕組みが整えられていたことを知ることができる。

実は幕府は、これより以前の貞享4年1月に病人・病牛馬など、重病の生類を生きながらに捨てることを禁じる法令を発している（『御触書寛保集成』『飢人御救并施薬養生所等之部』2256文書。以下、『寛保』文書番号を記す。および『江戸町触集成』第2巻2545号文書。以下、『町触』文書番号を記す）。この法令からは、重病の生類を捨てることに躊躇がない当時の人びとの心性と、それを当たり前とする社会状況を知ることができるが、同時にその心性をなんとか変革しようとする幕府・將軍の強い意志も見受けられる。しかし、これまで長年にわたって蓄積されたものの見方は、そう簡単には変えられるものではない。そのため、法令後も病馬を遺棄する者に対して、幕府は同年4月、本来病馬を遺棄した者は死罪とすべきところだが、まずは減じて流罪とする、とした処罰例を示し、法令順守の徹底化を図っている（『御当家令状』484号文書、および『加賀藩史料』第4編）。「小島家文書」のなかに残されていた「貞享請書」の捨馬関係部分は、その処罰例を再通達したものである。

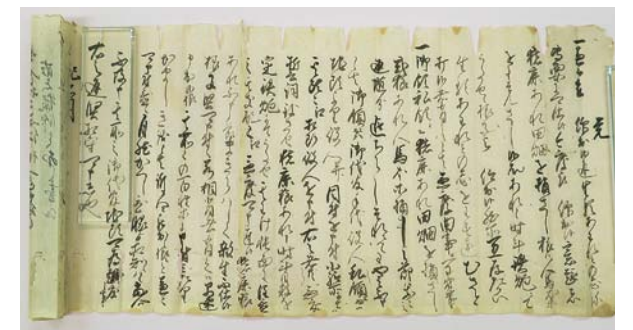
このように幕府は、他の生類に先んじて捨馬を死罪に値する行為として厳罰化し、同年12月には全国に向けて「捨馬禁令」(1034)を発令して、各村の高札場に掲示させることで周知させようとするほど、馬に対する対策を最優先させていたことが分かる（加賀藩では、翌年3月には領内各村に配布している『加賀藩史料』第四編）。犬愛護令として名高い生類憐み令は、実は病人



(貞享4(1687)年)12月 捨馬禁令 (No.1034)

病牛馬の遺棄への対応から始まった政策なのである。

一方、「小島家文書」にはもう一通、生類憐み政策に関する文書が現存する。元禄2(1689)年6月、兼ねてより人びとに求めていた「生類あわれみの志」にもとづき、猪鹿が田畑を荒らしたり、狼が人馬や犬等を襲ったりしない限り、鉄砲で撃ってはならないとしているにもかかわらず、法令に背いて撃つ者がいることを幕府が咎めている。そして、基本的には害をなす場合は追い払い、それでも止まないようなら役人に届け出てから「誓詞」を認めた上で駆除し、その理由を帳面に記すように命じている(4721、および『町触』2669号文書)。この命令に対しても、幕府は各村に承諾した旨を申告させる徹底ぶりであるが、注目されるのは、猪鹿を撃った場合はその場所に埋め、売ったり食べたりしてはならないと命じている点である。これまで村人たちは、野山に入り、動物と出合った場合には、たとえ作物を荒らしたり人を襲ったりしなかったとしても、それを害獣として駆除し、食したり売買していたはずである。そうした世間一般の人びとの常識を変革するために、繰り返し何度も丁寧に法令の内容を伝えていくことが必要だったのであろう。



元禄2(1689)年7月21日 生類憐み令請書雛形 (No.4721)

なお、馬以外の生類に関して幕府が発令した最初の体系的な法令は、貞享4年4月に捨子や鳥類・畜類の養育、および主無き犬にむやみに食物を与えないよう求める法令である（『御当家令状』485号文書、および『加賀藩史料』第4編）。この法令では、捨子を見つけた場合はすみやかに養育し、鳥類・畜類を傷つけないように定め、最後には「犬ばかりに限らず、すべての生類に対して人びとの慈悲の心をもって憐れむことが大事」と教訓している。この法令の最後の言葉に明らかなように、幕府は人びとにあらゆる生類に対する慈悲の心や「いのち」を尊ぶまなざしを根付かせようとしていたことがわかるのである。とはいえ、いまだ人びとの生活が不安定な状況のなかで、慈悲の心を定着させることは、百姓自ら武装して他者を殺傷してはならないと自覚するようになるこ

とと同じくらい、時間と労力が必要となるのであるが。
 また、捨子についても、「小島家文書」には関連文書が残されている。捨子は、先に述べたように貞享4年4月の法令の第1条に挙げられるほど、牛馬と同様に幕府の最重要課題であったようで、元禄3(1690)年には単独の法令で周知されている(『寛保』2813・『町触』2691)。「小島家文書」には、年未詳であるが、捨子を発見して届け出た文書や、捨子のその後の扱いを決めるために、大庄屋や各村の庄屋に調査を命じた文書が伝えられている。捨子を発見した場合、貞享4年4月の法令では、役所に届け出ずにその場所の者が養育するように定められていたが、「小島家文書」のなかに残されていた捨子の事例では、捨てられた日と場所が庄屋によって届け出されている(1146)。その上で、報告を受けた役所側は、その捨子が迷子ではなく捨子であると判断するために、周辺村の大庄屋や各村の庄屋に対してその子の年齢・性別や特徴、着物の様子、捨てられた日と場所を知らせ、迷子か捨子かをよく吟味するように命じている(5322)。具体的には、「年ごろ五・六才」の「女子」で、「丸まなこ、鼻低し、頭二・三日以前にそり」、着物は「つづれ(ボロ)着」て、「帯木綿古」いがちゃんと着ている、4月26日に木戸新保に捨て置かれた、などと捨子の特徴が詳細に記され、当該の子

が実は迷子の子で、親がいるのではないか、水呑百姓の子で、どこかの奉公人の子でないか、等を調査するように命じ、親が判別する場合には、「捨子捨馬」は禁止であるため、親戚や庄屋も一緒に処罰すると伝えている。
 このように、「生類憐み令」というと、とかく犬ばかりに目を取られがちであるが、初期の頃、および江戸以外の場所に残されている文書は、実は犬よりも捨牛馬や捨子の方が主要な問題なのである。実際に、犬についての法令はほとんどが江戸市中に限定され、犬単独の法令が全国法令となったのは、捨牛馬・捨子よりずっと遅れて元禄15(1702)年のことであった(なお、犬関連法が江戸市中に限定された背景には、江戸市中における野犬の横行と、それに害される人間との共存関係や、捨子を我が子として養育したい人びとの増加にともなう捨子の保護という特殊事情があったと指摘されている)。しかも、犬関連法令が綱吉没後に廃止されたのに比べ、捨牛馬・捨子の法令は、綱吉没後も継承され、江戸時代を通じて捨子・捨牛馬をしないような取り組みや仕組みが整えられていく。江戸時代の人びとは、幕府や藩による「いのち」を尊ぶための様々な取り組みと、自身の家の継承といった生活の安定化を求める世情のなかで、身の回りの生類に対する認識を変えていったと考えられるのである。

お知らせ 図書館のICT環境

自身のノートパソコン・iPad等を持参して学ぶBYOD(Bring Your Own Device:自分のデバイスを持参)が進んできていることから、附属図書館では、いつでもどこでも図書館資料を探す、調べる、学ぶ…ができるように、館内のWi-Fi環境および電源コンセント、モニター接続ケーブル等の整備、iPadの貸出、蔵書検索用スマホアプリの導入、電子ブックなどのオンライン資料等のICTに関わるサービスやインフラの高度化を図り、時代に合わせたスマートライブラリを目指していきます。

なお、従来ありました利用者用パソコンについては老朽化及びWindows7サポート切れのため、総合・医学の両図書館において、一部撤去しました。

引き続き、みなさまのよりよい学習・研究活動の支援を行っていきますので、お気軽にカウンターにお申し出ください。

*2020年春、総合図書館もIC化対応となります。無人開館時の入退館、書庫への入室及び入館ゲートにおいて、学生証、職員証をリーダーにタッチさせてください。
 ICチップへのデータ入力、総合図書館、教務課等で行ってください。



W.E. グリフィス顕彰小論文コンクール

W.E.グリフィスは、明治維新期に福井藩の招きで来日し、福井と東京で我が国の教育の近代化に功績をあげたほか、米国帰国後は、広範な言論・著作活動によって、日本を精力的に紹介し、対日理解の増進に大きな足跡を残しました。福井藩で最初の藩費海外留学生である日下部太郎との交友にとどまらず、日本の国際化ならびに日米関係発展の一翼を担った人物であり、2020年には来日150周年を迎えることから、グリフィスの業績を讃え、附属図書館では公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金の助成による小論文コンクールを実施しました。厳正な審査の結果、1月15日に授賞式が行われ、以下の方々に賞状と副賞が贈られました。受賞作品はwebサイトから見られます。



グリフィス コンクール

検索

- 最優秀賞 船越拓真(福井県立大学)
- 優秀賞 金子のの子(福井大学)
- 河野茅乃(福井大学)
- 前田芽里(仁愛大学)



日本医学図書館協会奨励賞を受賞

医学図書館の清水史子主査は、日本医学図書館協会の機関誌「医学図書館」に投稿した論文「福井大学医学図書館ミニ展示：フットワークは軽く」で2018年度同協会奨励賞を受賞しました。

同賞は、将来性及び医学図書館界の時代を担う人材育成に寄与すると認められる著作物または活動に授与される賞であり、受賞論文は、医学図書館の職員が、図書館ネットワークの利用や他部署の教職員の協力を得るなどして、利用者ニーズにこたえる様々なテーマのミニ展示を実現していくプロセスを紹介し、読者が追体験できるような論文構成がなされており、極めて説得力のある実践報告となっている点が評価されました。

5月30日の同協会総会において表彰式と清水氏の記念発表がユーモアを交えて行われ、その後、学長へも受賞報告をいたしました。



4月 春ですね、何しましょ♪

展示スペースが新しくなりました。初企画はいろんな初心者さんへ向けて。

5月 レポート&プレゼン対策

重要かつ必要！大好評でした。

6月 ラーニング・アドバイザー始動

留学生、情報系、物理系、なんでも系、彩り豊かに揃いました。

6月 ブックハンティング

生協書店にて学生さんに選書してもらいました。

8月 オープンキャンパス

メディアcommonsにてリケジョ・セミナーがありました。

9月 祝ノーベル化学賞2019



7月 国際地域科学部公開講座「新聞を学ぶ」

朝日新聞 DB 活用法に、新聞記者の方のお話…深い。

7月 公開講座「豆本の愉しみ」

地域の方へ本学の学術資料の紹介をするシリーズ第1弾、2020年7月に第2弾があります。

7月 福井の郷土豆本

公開講座で使用した豆本はじめ、本学所蔵の豆本を展示。



7月 英語論文投稿セミナー

「良い論文を書くには」という観点からの Web of Science や Publons を使った研究メソッド。

停電・トイレ断水

原因は落雷。異常気象も影響しているのでしようか。#イベント (^_^A

4月 論文執筆セミナー

アクセプトされやすい英語論文の書き方講習会を開催。

10月 知りたくないですか？お金のこと

消費税増税を機に企画。大切なお金に振り回されないためには！?

10月 きてみてフェア

毎年恒例となり、今年も満員御礼でした。

10月 中学・高校生による図書館見学

見学に訪れる中高生の皆さんには、書庫もご案内しています。

11月 SDG's展

ラーニング・アドバイザーが企画し、職場体験の中学生もお手伝い。

11月 ラウンジのコミック

コミック肥ゆる秋。

12月 レトロな本

雑誌「赤い鳥」をはじめ宮沢賢治など復刻本を集めました。

12月 電子コミック

電子コミックも肥ゆる冬。

12月 「科学道100冊」とビブリオバトル

「科学道100冊」をお題にラーニングアドバイザーがバトルとなってやってみました。

12月 クリスマスライブ

アカペラサークル ふれんどさんの美しい歌声が今年も館内に響きました♪

教員推薦図書展示中

先生方から、学生たちにぜひ読んでほしいと思う本を推薦していただきました！
オススメのポイントもコメントいただいています。
学習に役立つ本がいっぱいあります。ぜひご利用ください！

推!

推薦のコメントと共に紹介。(7・1月 年2回実施)

1月 グリフィス顕彰小論文コンクール表彰式 (P.14 参照)



10月 シーボルト植物誌

本学所蔵のユニークな本の展示も始めました。

10月 中学生職場体験

中学生3名が2日間、基本の業務から企画展示まで体験しました。

11月 ラーニング・アドバイザー始動

留学生、情報系、物理系、なんでも系、彩り豊かに揃いました。

11月 ラウンジのコミック

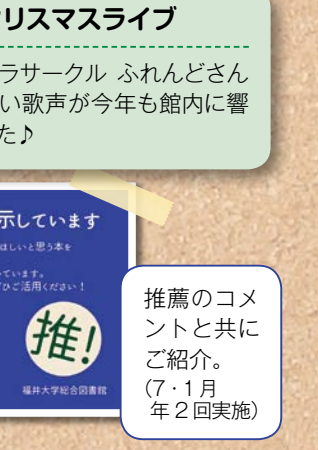
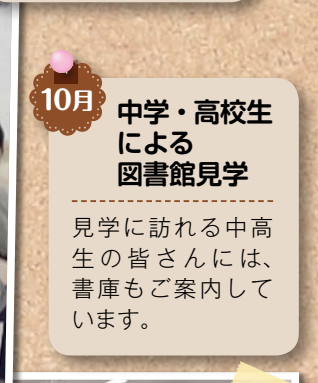
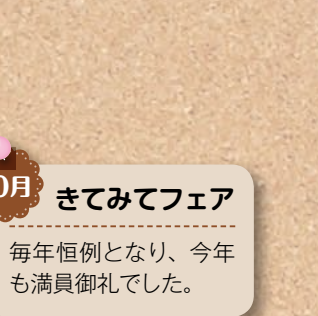
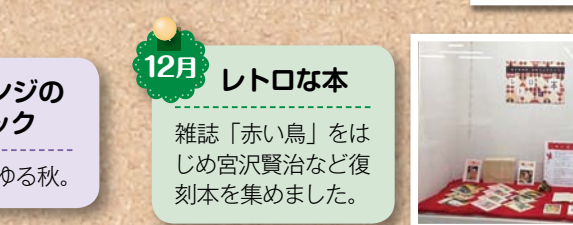
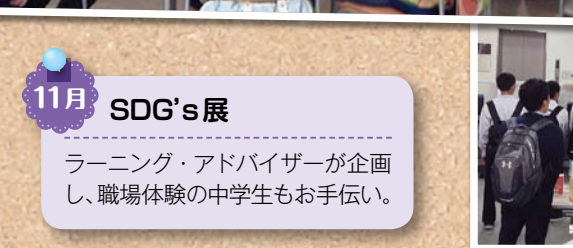
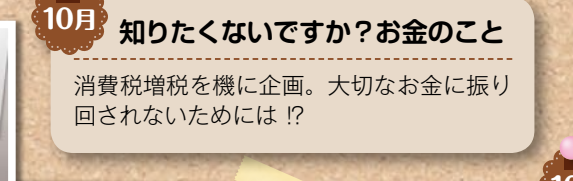
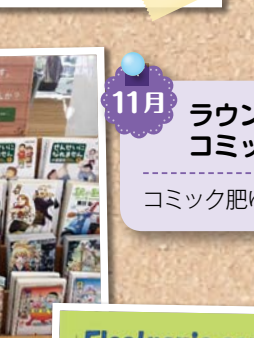
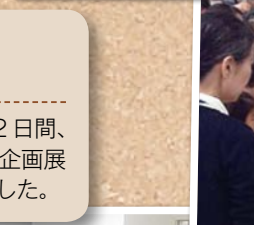
コミック肥ゆる秋。

12月 電子コミック

電子コミックも肥ゆる冬。

12月 「科学道100冊」とビブリオバトル

「科学道100冊」をお題にラーニングアドバイザーがバトルとなってやってみました。



4月

新入生展示
ようこそ
医学・看護の世界へ

看護学・医学への第一歩
を本で誘う新入生展示。



4月

講習会
アクセプトされ
やすい英語論文
の書き方
(Elsevier)



5月

展示
● 入学・進級から1か月。
ちょっとお疲れ気味
なあなたへちょっと
元気のおすそわけ♡
● 忙しいあなたに…ひとり
暮らしを豊かに過ごそう。

5月

講習会
● PubMed講習会
● Web of Science 講習会
「世界トップレベルの論文執筆に必要な研究
メソッド ~インパクトファクターを超えて~」

7月

イベント
ブックハンティング
図書委員を中心に図書館
に置く本を書店で選んで
もらいました。



6月

学生図書委員
図書委員連絡会での一コマ。
次の展示テーマの提案
や図書館への要望、質問
など。笑いが絶えません。

7月

気になる本
松岡キャンパスには名ライ
ターと評判のI(アイ)
主任が在籍中。直木賞
候補作などPOPを寄せて
ください。注目す
べきは、書評のみならず
関連するテレビ番組や展
覧会情報をお薦めして
もらえるところ。



その他
研究室リレー紹介
昨年末から始まった
研究室リレー紹介。
現在、第8走者にて
研究街道爆走中。

8月

講演会
オープンアクセス時代の
論文投稿とハゲタカジャーナル
同志社大学の佐藤先生による講演会。ハゲタ
カジャーナル判別リスクなど研究者のすぐ
身近に潜む問題への警鐘が鳴らされました。



8月

**オープン
キャンパス**



9月

展示
医学系部門
優秀論文紹介



9月

展示
福井県ってこんなところ
福井県の魅力を伝える「福井県
ってこんなところ」。今年は、県が
主催する「ふくいレジデントカ
フェ」に関連して開催。県庁か
ら職員が視察に来られました。

9月

講習会
英語論文執筆セミナー
今年で3回目となる神戸大学の保田幸子先生による
「英語論文執筆
セミナー」を
開催。ワーク
ショップ形式
で明日から使
える執筆のコ
ツを伝授。



9月

イベント
文京キャンパスの総合図書館へ
Let's Go!!
昨年に引き続き、文京キャンパスの総合
図書館見学に出かけました。豆本を初め
て見たり、物理学の研究室にもお邪魔し
本にまつわるお話で盛り上がりました。



11月

展示
〇口先生の
おすすめ本
先生方からのすす
め本をコメント
つきで紹介。



10月

講習会
● 学生・医学図書館協働企画講演会
「意思を巡る諸問題について：
国際的な経験から見る精神科強制入院」
● 古本市



11月

講習会
福井県医療系図書館講習会
県内の病院図書室や大学の医療系図書館が
合同で医中誌 Web 講習会を開催。



12月

展示
科学道 100冊
総合図書館との連動
企画。生きるヒント
がここにある。



1月

**国試応援
メッセージ**



12月

イベント
クリスマスコンサート
今年で5回目となる医学部管弦楽団の
皆さんによるクリスマスコンサート。「ジ
ングルベル」「愛の挨拶」「アイネクライ
ネナハトムジーク」「G線上のアリア」
を弦楽四重奏で生演奏。ご来場者には
電子ブックPRグッズをプレゼント。

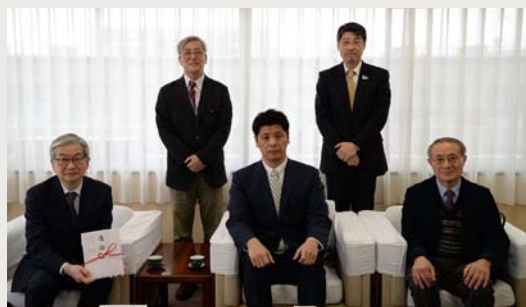


図書を寄贈していただきました

ニホン・ドレン株式会社より、北陸銀行の寄贈型ESG私募債*を活用して、専門書53冊を寄贈していただき、2月18日に目録贈呈式が行われました。ニホン・ドレンの内藤伸平代表取締役社長と内藤法栄取締役会長が本学工学部の卒業生であることから、母校の発展を願っての寄贈で、内藤社長から学長に目録が手渡され、末附属図書館長(研究理事)から謝辞が述べられました。

寄贈された図書は、教育、医学、工学、国際地域の各分野にわたっており、順次新着図書コーナーに並びますので、皆さんの学習・研究にお役立てください。

*企業が発行した私募債の金額に応じて、教育機関などに物品を寄贈する取り組み



2019年度 教員著作寄贈図書

総合図書館

萩中奈穂美准教授

- ・「説明表現能力」育成のための学習指導論
萩中奈穂美著 溪水社, 2017

故寺尾健夫教授

- ・現代アメリカにおける構築主義歴史学習の原理と展開：
歴史像の主體的構築
寺尾健夫著 風間書房, 2018

小林和雄准教授

- ・真正の深い学びへの誘い：「対話指導」と「振り返り指導」から始める授業づくり
小林和雄著 晃洋書房, 2019

小高知宏教授

- ・基礎から学ぶ人工知能の教科書 小高知宏著 オーム社, 2019

高田宗樹教授

- ・Stereopsis and Hygiene Hiroki Takada, Masaru Miyao, Sina Fateh, editors. Springer, 2019
(Current topics in environmental health and preventive medicine)
- ・Electromyography : new developments, procedures and applications
Hiroki Takada, editor. Nova Science Publishers, 2012 (Neuroscience research progress series)



医学図書館

高田伸弘元准教授

- ・医ダニ学図鑑：見える分類と疫学
高田伸弘編著；高橋守，藤田博己，夏秋優著 北陸館, 2019

友田明美教授

- ・小児神経科医：友田明美の仕事：傷ついた親子に、幸せを
NHK出版企画・制作 NHKエンタープライズ, 2019 (NHK DVD. プロフェッショナル：仕事の流儀)



ご寄贈いただきました先生方、誠にありがとうございました。これらの著書は、各館において、利用させていただきます。今後も、御著書の寄贈にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

★総合図書館…2階教員著書コーナー

★医学図書館…1階 福井県医学資料室